

すみた 議会だより



No.159

平成29年
10月27日

「お菓子をくれないと
イタズラしちゃうぞ」

《有住保育園》

9月議会で決まったこと

調停申し立て

28年度決算審査の概要

我が町政を問う（7議員が一般質問）

特集「豪雨被害防止策」

②

④

⑥

⑩

⑩

システム『ゆうちょ』と連携



△来年4月から税金や使用料の支払いが「ゆうちょ銀行」でも可能に

9月定例会は、9月21日から10月2日までの12日間の会期で開かれました。
 神田町長にとっては初の定例会。一般質問には7議員が登壇し、当局と論戦を交わしました。その後、報告、補正予算審議、財産の取得、木工館の指定管理、固定資産評価審査委員の選任同意、人権擁護委員の推薦諮問、28年度決算の認定、常任委員・議会運営委員の選任、発議に関する議案を審議し、全議案を原案のとおり可決しました。

笑顔あふれる

「共生のまちづくり」を目指して

第13回住田町議会臨時会

8月22日、神田謙一町長就任後初めてとなる町議会臨時会が開かれ、所信を表明しました。神田町長のもと、「医・食・住」を重点項目とした新たなまちづくりがスタートしました。新体制では「やさしいまちづくり」を進める方針です。

所信表明(要旨)

このたび、町民の皆さまからご支持をいただき、今後4年間の住田町のまちづくりを担わせていただくこととなりました。町民の皆さまの負託にこたえ、美しい自然環境など誇るべき地域の宝を守り、育みながら豊かなまち住田を築いていくことが、私の使命であると新たに決意し、全力を尽くしてまいります。

町政運営にあたりましては、医・食・住を基本とし「共生のまちづくり」のために町民の皆さまの声に耳を傾けるとともに

現場主義行動力を大切に、知恵を出し合い、汗をかきながら限られた財源を有効に活用し、課題解決に向けて全力で取り組んでまいります。

また、町の総合戦略・人口ビジョンをより深化させることにより、「住んで良かった」と実感でき、次代を担う子どもたちが、「ふるさと住田に住んでいたい」と思えるような「笑顔あふれる」まちづくりを目指してまいりますので、これからも皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。



△所信表明演述を行う神田町長



△町づくりに蔵をどのように活かしていくか。

補正予算 住民情報

納税
電算改修ねらいは
税等、収納に便宜

問 電算システム等導入並びに住民情報システム改修委託料のねらいは。

答 来年4月から銀行・J Aに加え、「ゆうちょ銀行」(町内の郵便局)でも税金や水道など各種使用料の支払いがスムーズにできるよう整備するもの。

問 五葉山の石楠花荘改築事業の事業費と関係自治体

の負担割合は。

答 本年度改修設計を進め、関係自治体は金石市、大船渡市、住田町となり、住田町の負担割合は12分の2とした。現段階の建設費概算は7500万円程度。

蔵並み
蔵改修に向けて
蔵の相談会開催

問 蔵改修保存調査等委託料、講師謝礼の用途は。

答 まちや世田米駅の蔵を改修、調査に合わせて、蔵を活用した町づくりを進めるといった観点から、「蔵史(くらし)」を聴いて暮らしに生かす」というテーマのトークセッションを行う。パネリスト、コーディネーターとして蔵に関わる4人の先生を予定している。

問 景観まちづくり会議の取り組み内容は。

答 世田米商店街の歴史と景観を生かした町づくり推進業務に係るコーディネートに邑サポートに委託するもの。

防災
警報受信機とは
Jアラート更新

問 全国瞬時警報システム受信機更新のねらいは。

答 いわゆる「Jアラート」と通称呼ばれているもので、北朝鮮から弾道ミサイルが発射された際に警報が鳴ったもの。設置してから7年が経過し、国より30年度までに機器更新をするように求められているため。

人事案件に同意

【固定資産評価審査委員】

千葉和三氏
世田米 (再任 65才)

小野ちか子氏
上有住 (新任 67才)

【人権擁護委員】

瀧本正徳氏
世田米 (再任 69才)

澤田幸枝氏
上有住 (再任 67才)

佐々木照美氏
下有住 (新任 66才)

問 道路新設改良の測量設計調査路線はどこか。

答 下有住の町道高瀬小畑線で国道340号線の高瀬側から250mを計画。

介護
入所サービス増は
ユニット個室対応

問 介護保険給付費のうち特定入所サービス事業費が大幅に増額になっているが要因は。

答 特養すみた荘は、全室ユニット型個室となりましたが、これまで多床室の居住費でサービス提供してきたものを、今年4月から本来のユニット型個室の居住費に改めたため増額となる。

町議補選
荻原勝氏
当選

7月18日告示の町議会議員補欠選挙(欠員1)では、荻原勝氏(57)が世田米IIが、無投票当選となりました。



☆平成29年9月補正予算の主な事業

| | | | |
|-----------------------|-------|-------------------|-------|
| ■住民情報システム改修委託料 | 399万円 | ■測量設計調査委託料 | 600万円 |
| ■石楠花荘改修事業負担金 | 61万円 | ■一般教材備品購入費 | 71万円 |
| ■全国瞬時警報システム受信機更新業務委託料 | 246万円 | ■景観まちづくり会議運営業務委託料 | 67万円 |
| ■妊産婦医療扶助費 | 190万円 | ■衆議院議員選挙費 | 898万円 |

支払い求め調停申し立て

賛成多数で可決

三木、ランバーと連帯保証人に

第12回住田町議会臨時会が、7月11日開かれ、三陸木材高次加工協同組合（三木）と協同組合さんりくランバー（ランバー）への貸付金残金などの支払いを求める調停を申し立てる議案を可決しました。

申し立ての相手は両事業体と連帯保証人の25個人・団体。

支払い申し立ての内容は、農林業振興基金貸付金債務は、三木が3億9377万円、ランバーが3億8950万円。集材加工施設の貸付料は、三木が6829万円、町有林立木の未払代金は、ランバーが2億2584万円。総額は10億7740万円となります。

債権放棄にならないか 町長／早期一体経営を

問 これは本来、和解を求めるもので、借りている側が貸している側に棒引きを申し込むのが一般的。なぜ、貸し手が申し込まなければならぬのか。

町長 本来はそうあるべきと思う。両事業体は2月に前理事長が死去したあと、ようやく先月新たな理事長が決まるような状況である。結果的には自分たちから調停の申し込みはできないとのこと。それでは、このままズルズルと断ち切ってしまうと判断した。最終的に三木、ランバーが継続して事業を

できる方策を狙った。

問 昨年11月に町民説明会を開催し、平成31年度以降は、当初予定通りの償還ができるとの見通しが示されていたが、これまでの説明会とは全く異なる対応で町の債権放棄につながるものではないか。

た内容は、両事業体から出た数字をもとに示しましたが、現実にはうまく回らない。大きな債務を抱えている。再建のめどが立たない中、再度検討した結果、今回の調停申し立てに至った。

町長 昨秋の説明会で示した内容は、両事業体から出た数字をもとに示しましたが、現実にはうまく回らない。大きな債務を抱えている。再建のめどが立たない中、再度検討した結果、今回の調停申し立てに至った。

◆支払い申し立ての内容

| | 三陸木材高次加工協同組合 | 協同組合さんりくランバー | 計 |
|------------|--------------|--------------|-----------|
| 農林業振興基金貸付金 | 3億9377万円 | 3億8950万円 | 7億8327万円 |
| 集材加工施設貸付料 | 6829万円 | | 6829万円 |
| 町有林立木未払代金 | | 2億2584万円 | 2億2584万円 |
| 計 | 4億6206万円 | 6億1534万円 | 10億7740万円 |



△事業体のあり方が話題となった説明会

皆さんの陳情

採択

◎日本政府がすみやかに核兵器禁止条約に署名し、国会が批准することを求める請願

【請願者】

岩手県原爆被害者団体協議会ヒバクシャ国際署名をすすめる岩手の会

【紹介議員】

菅野浩正・瀧本正徳

【主な内容】

核兵器の悲惨さを知る唯一の国の政府として、署名が開示される9月20日以降いち早く調印し、国会での批准を経て条約が正式に発効することを強く求めること。

全員賛成

採択

意見書提出

【意見書提出先】

衆議院議長 参議院議長
内閣総理大臣

9月定例会では請願1件、陳情1件を審議・審査しました。

◎「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情

【陳情者】

全国森林環境税創設促進議員連盟

【主な内容】

森林・林業・山村対策の抜本的強化を図るための「全国森林環境税」の早期導入を強く求めること。

全員賛成

採択

意見書提出

【意見書提出先】





衆議院議長 参議院議長
内閣総理大臣 財務大臣
総務大臣 農林水産大臣
環境大臣 経済産業大臣

常任委員などを改選






議員の任期 折り返しへ

常任委員の2年の任期が9月30日に満了したため、新たに委員の所属構成を決定し、10月2日に新委員による委員会を開催。委員長、副委員長を選任しました。また、議会運営委員長も同じく任期満了により選任しています。今回の改選による委員会の構成は、次のとおりです。






総務教民常任委員会

| | | |
|---|---|--|
|  委員長 林崎 幸正 |  副委員長 村上 薫 |  委員 阿部 祐一 |
|  委員 泉田 是重 |  委員 佐々木 春一 |  委員 荻原 勝 |






産業経済常任委員会

| | | |
|---|---|--|
|  委員長 菅野 浩正 |  副委員長 佐々木 初雄 |  委員 高橋 靖 |
|  委員 瀧本 正徳 |  委員 佐々木 信一 |  オブザーバー（議長） 菊池 孝 |

広報編集常任委員会

| | | |
|--|--|--|
|  委員長 佐々木 春一 |  副委員長 瀧本 正徳 |  委員 菅野 浩正 |
|  委員 佐々木 信一 |  委員 佐々木 初雄 |  委員 荻原 勝 |

議会運営委員会

| | | |
|---|---|--|
|  委員長 瀧本 正徳 |  副委員長 高橋 靖 |  委員 阿部 祐一 |
|  委員 林崎 幸正 |  委員 菅野 浩正 | |

町政調査会

| | |
|-----|---------------|
| 会長 | 佐々木 春一 |
| 副会長 | 村上 薫 |
| 理事 | 瀧本 正徳 |
| 理事 | 佐々木 信一 |
| 監事 | 佐々木 初雄 |
| 監事 | 荻原 勝 |

財産取得

- 町消防団第3分団第1部（小股）及び第5分団第1部（両向）の小型動力ポンプ積載車（2台）を更新
- ・ 取得予定価格 1447万円

- 消防住田分署新庁舎にかかる家具調度品等備品一式を購入
- ・ 取得予定価格 966万円



△工事が進む住田分署

指定管理

- 住田町木工館の指定管理者を指定

- ・ 指定管理者 アトリエ・リトア
- ・ 世田米字大通

- ・ 指定の期間 平成29年10月3日～平成32年9月30日まで

総合計画初年度

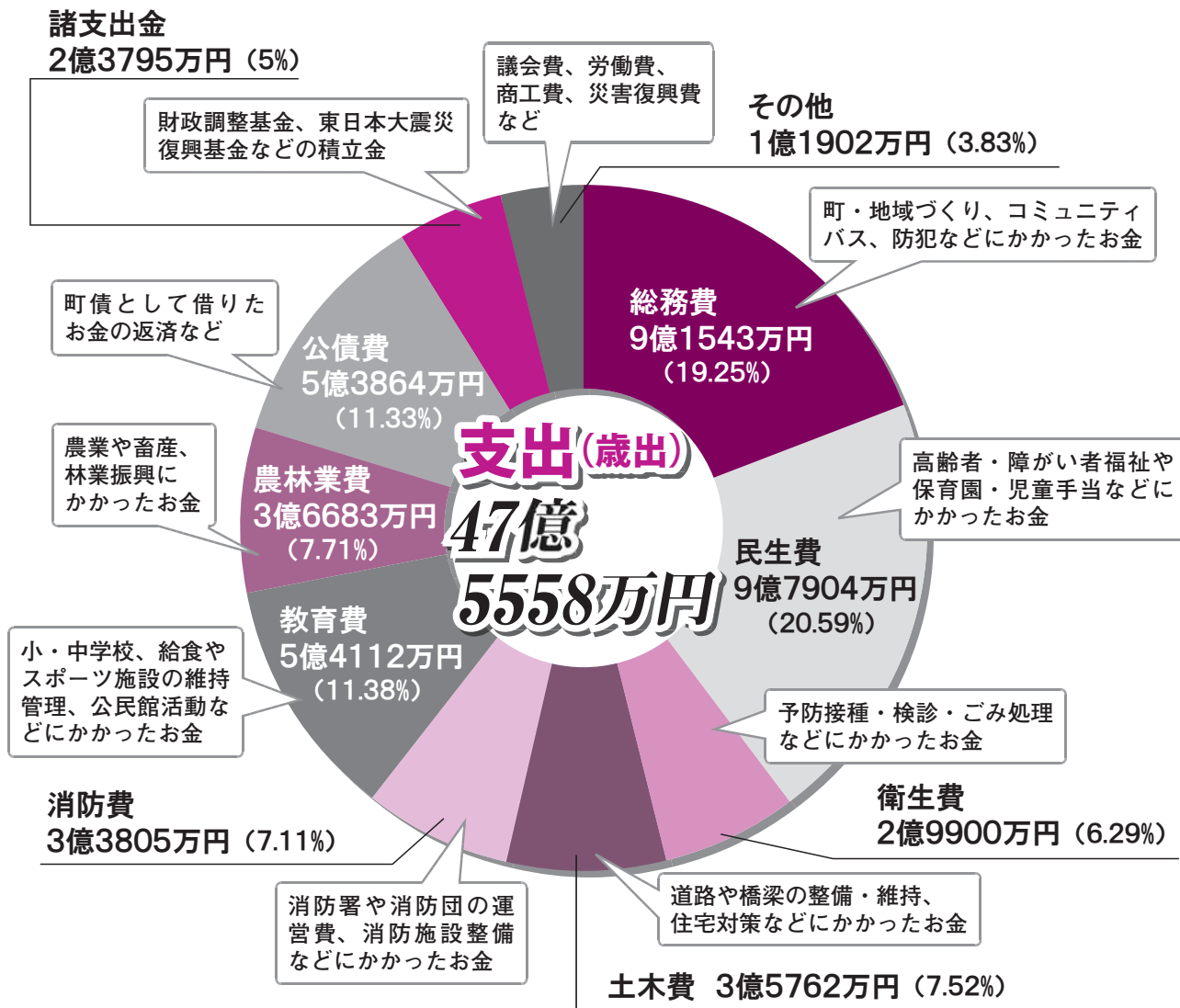
住民交流拠点・地域おこし協力隊・
集落支援員・住民活動支援交付金…

一般会計歳出

47億5558万円

前年度対比6.85%減

決算審査特別委員会



町債(借金)と基金(貯金)の状況

(一般会計分)

29年3月末日人口：5761人

借金

貯金

町債
(借金)

63億3118万円

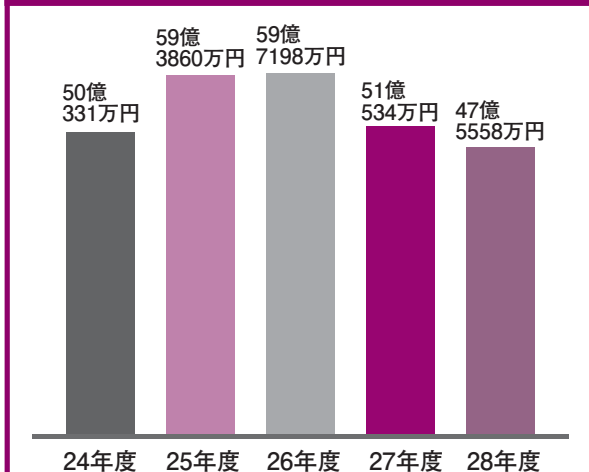
町民1人あたり 110万円

基金
(貯金)

55億10万円

町民1人あたり 95万円

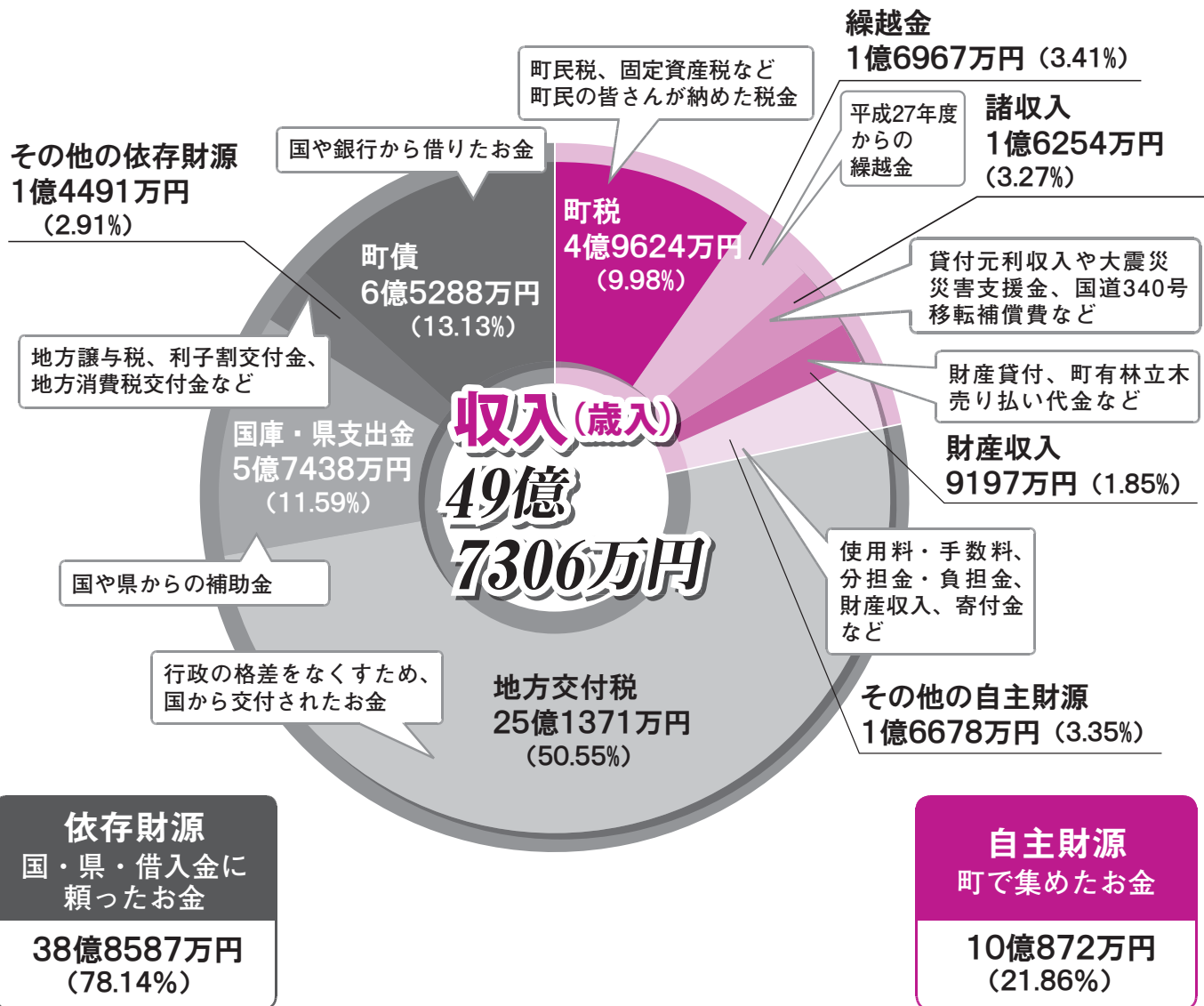
5年間の一般会計歳出決算の推移



28年度 決算

人口ビジョン・総合戦略・ 将来を見据え、選択と集中

決算審査特別委員会



平成28年度 一般会計・特別会計決算の状況

| 会計区分 | 一般会計 | 特別会計 | | | | | | |
|------|-----------|-----------|----------|----------|--------|----------|--------|---------|
| | | 特別会計計 | 国保会計 | 簡易水道 | 下水道 | 保健事業 | サービス業 | 後期高齢者医療 |
| 歳入 | 49億7307万円 | 21億2119万円 | 9億1650万円 | 1億7045万円 | 8067万円 | 8億7870万円 | 299万円 | 7188万円 |
| 前年度比 | -3億194万円 | -3833万円 | -6410万円 | +450万円 | -609万円 | +2897万円 | -74万円 | -87万円 |
| 歳出 | 47億5558万円 | 20億4078万円 | 8億5712万円 | 1億7037万円 | 7804万円 | 8億6214万円 | 137万円 | 7174万円 |
| 前年度比 | -3億4976万円 | -3411万円 | -4600万円 | +448万円 | -477万円 | +1415万円 | -105万円 | -92万円 |

質疑

決算審査特別委員会

決算を徹底チェック

町のお金は適正・効率的に使われたか

決算審査

特別委員会

次に活かせ

ここが聞きたい

28年度の一般会計及び各種特別会計の決算は、決算審査特別委員会（委員長・佐々木春一）に付託し審議しました。町政全般にわたり、数多くの質疑がありました。その中から、いくつかをお知らせします。

総務課・企画財政課

庁舎の使用状況は

問 庁舎の使用実績と使用料徴収件数は。

答 町民ホールの使用件数は、年間294件、使用料は5件。交流プラザは98件、使用料は9件。

問 消防団の充足率は。

答 定員465人に対し、4月1日現在374人で80・4%。減少傾向が課題となっている。解消に向けての機別団員は58人と増えている。

自立の地域づくりは

問 自立した地域コミュニティの構築を図る経費

など、どのような形でチェック、評価しているのか。

答 各地区の人たちが活動しやすい環境をつくりながら、寄り添ってサポートしていく形で、チェック体制をとっていく。

問 結婚相談としての出会い支援事業、いきいき岩手サポートセンターなどの連携は。

答 サポートセンターは、盛岡、宮古に開設されており、10月から奥州市にも開設される予定で進んでいる。費用負担の連携という部分もあるが、登録者がいないということもあり、具体的な連携は始まっていない。

決算審査意見

住民福祉向上に 創意工夫を

代表監査委員 紺野 仁

決算審査に付された各会計の歳入歳出決算書等は、計数的に正確であり、概ね所期の目的が達せられたと評価できる。

住民交流拠点施設「まちや世田米駅」を核とした交流人口の増、災害に強いまちづくりに向けた住田分署建設、地域おこし協力隊、集落支援員と連携した地域づくりなど、事業が計画的に達成されたと評価する。

財政の健全化は図られているが、公共施設やインフラ施設は維持管理費に加え、改修や新たな整

備など、財政を圧迫することが懸念されることから、適切な財政運営が求められる。

三木・ランバーに融資した平成26、27、28年度の3ヶ年の元金償還金9272万円のうち672万円が納入されたが1割にも満たない額である。さらなる未収金回収に努力をするとともに経営の立て直しを望む。

これまで以上に創意工夫を凝らし、住民福祉向上に積極かつ効果的に施策の展開を図ることを期待する。

委員長報告

「情報意識の共有」の
実践が明らかに

決算審査特別委員会
委員長 佐々木 春一

審査の経過から学んだことは、役場職員も町民も自発的に結束し、将来への展望を自ら切り拓いていくこと。「小さな自治体」の「顔の見える関係」だからこそ出来る「行政サービス」をが望まれます。住民、地域が動き、行政が支援するシステムが噛み合ったとき、役場職員への信頼が高まり、町民との間で「情報共有」「意識の共有」の実践が生まれることが明らかとなりました。

住民福祉の向上と、誰もが健康で、安全かつ快適に生活することが出来る「健康で住み良い町づくり」を目指し、「自らの地域社会の未来を、自らの創意工夫で切り開き、自らが決定し、責任をもって実行していく」という地方自治の基本に立ち、持続可能な地域づくりの実践を期待します。

町民生活課・保健福祉課

原発補償の対応は

問 原子力損害賠償紛争解決センターからの入金は。

答 28年度中に和解はなく入金はない。継続しているものは、町水道や専用水道、下水道の放射線物質検査や脱水汚泥などの検査が対象となる。

健康増進補助金枠は

問 健康増進事業補助金枠があるのか、制限はないのか。

答 生活習慣病の予防と健康増進を図るために実施する事業に対する補助で、一定の基準値がある。

農政課・林政課

種山への来訪者は

問 種山は住田を代表する観光地、利用者の掌握は。

答 28年度の入込数は、遊林ランド12223人、道の駅種山ヶ原6万4640人、合計6万5863人。

松くい虫被害は

問 森林病虫害等駆除、町内の樹種、被害の状況は。

答 数量は年々増えており、駆除したアカマツは、平成28年度実績390本。

建設課

合併浄化槽設置状況は

問 合併浄化槽設置、対象区の設置済みはどうなっているか。

答 下水道区域外で21・

5%の普及率となっている。当面は住宅新築、リフォーム、合併浄化槽補助で対応したい。

教育委員会

生後8週以上の乳幼児の受け入れで増改築などを進めているが、保育士をはじめ保育環境の問題点は。

答 受け入れ側の体制、保育士など、安心安全を確認したうえで受け入れる。

栗木鉄山跡の保存を

問 文化財保護事業どう展開するのか。

答 栗木鉄山跡の国指定に向けた動きなど、ポリュームのある事業を展開しなければならぬ。学芸員の有資格者の配置に努めながら、文化財行政に取り組んでいきたい。



△調査が進む栗木鉄山跡

9月定例会 28年度各種会計決算 採決状況一覧

○賛成 ×反対

| 議案 | 荻原勝 | 佐々木初雄 | 佐々木信一 | 瀧本正徳 | 菅野浩正 | 佐々木春一 | 村上薫 | 林崎幸正 | 泉田是重 | 高橋靖 | 阿部祐一 | 菊池孝 | 議決結果 (賛成・反対) |
|-----------|---------------------|-------|-------|------|------|-------|-----|------|------|-----|------|-----|-----------------|
| 決算審査特別委員会 | 委員長(佐々木春一)は採決に加わらない | | | | | | | | | | | | |
| 認定第1号 | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 (7:3) |
| 認定第2号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 (10:0) |
| 認定第3号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 (10:0) |
| 認定第4号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 (10:0) |
| 認定第5号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 (10:0) |
| 認定第6号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 (10:0) |
| 本会議 | 議長(菊池孝)は採決に加わらない | | | | | | | | | | | | |
| 認定第1号 | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 (8:3) |

反対

討論

賛成

町民利益の損失

林崎 幸正議員

前町長が木工2事業体の融資金や立木売却代金などの回収に道筋をつけないまま単なる任期満了で辞めたことは、責任をとったとはならない。町が進める調停は、町債権約11億円の實質棒引き協議で、町民利益の大きな損失となることから決算認定に反対する。

財政運営を評価

菅野 浩正議員

木工2事業体については、町民説明会で経営改善策が示された。経営安定化に向け、役職員、関係者一体となり、これまで以上に町として支援、指導を望む。会計全般にわたって、地域活性化や福祉向上策の推進に向けた財政運営を評価し、決算認定に賛成する。

決算審査特別委員会

一般質問

9月
定例会

我が町政を問う

一般質問は、議員が町長などの執行機関に対し、町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針など所信を聞き、報告や説明を求め、疑問点を質すこと。また、議員が主義、主張を述べ提案し論戦します。

一般質問の方法は、1回目は一括して質問しますが、2回目以降は1問ずつ質問する1問1答方式を採用しています。制限時間は、答弁を含めて60分です。

9月定例会では、7人の議員から19件の一般質問が行われ、町政全般について、2日間にわたり活発な議論が展開されました。

質問と答弁を要約した内容は、11ページから17ページでお知らせします。

なお、全文記録（議事録）は、12月下旬から役場庁舎2階の総務課と町ホームページ上で閲覧できます。

農林業振興策

・新町長の政治姿勢などで論戦

| ページ | 質問者 | 質問項目 |
|-----|-------|---|
| 11 | 瀧本正徳 | ①施策の進捗管理 ②町施設の有効活用と管理 ③大雨洪水被害対策 ④健康寿命延伸対策の推進 |
| 12 | 佐々木春一 | ①神田町長の政治姿勢 ②国民健康保険新制度における国保料（税） ③医療と介護の現状と課題 |
| 13 | 佐々木初雄 | ①ひきこもり支援施策 ②鳥獣被害対策 ③農林業振興策 |
| 14 | 菅野浩正 | ①第6次農業基本計画の推進 ②中山間地域における教育振興 |
| 15 | 村上薫 | ①今町長選挙の総括 ②神田町政 ③緊迫の度を増す北朝鮮情勢と町民の安全 |
| 16 | 林崎幸正 | ①木工団地2事業体の未償還金等への対策 ②地域医療の充実 |
| 17 | 佐々木信一 | ①農業振興 ②林業振興 |



議員のつづやき

「山を治め、水を治めよ」…この町の防災対策の原点だと思います。

大雨洪水 林地残材で減災を 町長／現状確認と適正管理で

問 大雨洪水被害の減災対策は一層細やかに進めるべきである。河川敷周辺の立木や林地残材が、流域の洪水被害を大きくしている。実態調査をし、対策を進めるべきではないか。

町長 岩泉町における大雨洪水大災害は、上流部からの土砂崩れとともに、流されてきた立木が橋梁を閉塞させたことにより、広範囲にわたり床上浸水や幹線道路・田畑などへ大規模な浸水被害をもたらした。県管理の河川区域内樹木は、定期的なパトロールで、緊急



△洪水被害を大きくした流木

性の高い箇所から伐採を実施してきた。町管理河川もパトロールなどにより現状確認・対応している。

問 林地残材対策や山林の保全のため、残材などの集積場や機械設備を整え、木質バイオマス利用の温水

プールや温泉施設をつくり、木材の地産地消、町民の福祉向上策とすべきと思うがどうか。

町長 林地残材対策は、主として木質バイオマスエネルギー利用であると捉える。林地残材の活用を進めたいと思うが、調達段階で発生するコストや設備投資などの問題から、本格的な林地残材の活用に至っていない。今は、木質バイオマス利用の温水プールなどの整備計画はない。総合的に検討しながら慎重に考えてい。

遊林ランド種山の今後は 新たな指定管理者で



△観光振興に活かしたい「遊林ランド種山」

問 町施設「遊林ランド種山・旧姥石集会所や農林会館」など、役割を十分果たせないものもあるが、管理状況と今後の計画は。

旧姥石集会所は、平成6年から12年まで、道の駅として利用してきたが、現在は道の駅の倉庫として利用している。今後は道の駅関連施設としての活用を図りたい。

町長 種山ヶ原体験交流センター「遊林ランド」は、平成18年度から住田観光開発が指定管理者となり管理運営してきたが、来訪者の減少や施設の老朽化などにより、指定管理による管理が難しくなった。平成27年から利用予約があった都度の開館するという管理委託を行っている。管理人は常駐でない。広く指定管理者を募集している。

農林会館は昭和56年に建設し、本町の農業者の研究・文化施設の中心として活用してきた。町民ホールの活用が進み、農林会館の使用回数は減少している。老朽化が進んでいるが、維持修繕しながら今後も継続して有効に活用する。

その他の質問

- ・町施策の進捗管理
- ・健康寿命延伸策の推進



議員のつぶやき

共に知恵を出し合い、心地よい汗をかきたいものだが...

「開かれた町政」への決意を

町長／町の未来を

一緒に考え行動

問 神田謙一町長は、8月22日の町議会臨時会で所信を表明した。開かれた町政運営に向けた意欲と決意を述べたが、町民に何を訴えていくか。

自治体では、住民と行政の距離が近く、住民の声が個別に届きやすい利点がある。町の未来を一緒に考え行動し、小さな町だからこそ「支え合う共生の町づくり」を進める。

バイオマスエネルギーの有効活用、町産材のさらなる利活用のためCLT（直交

集成板）などへの対応を進めていかなければならぬ。

国保負担緩和すべき

算出方式により比較検討

問 働く場と所得を生み出す宝物は、農林業の再生であるが、どのように取り組むか。

農政課長 担い手となる若手を育て、住田の農業をつなげていく考えで進めたい。そのための施策を臨機応変に進める必要がある。

問 来年4月、国民健康保険は都道府県化に移行する。6月議会で取り上げた

国保税額の試算は、現行でも高すぎる保険税を引き上げる内容だったが、当町独自の試算結果の見通しは。

林政課長 さらなる森林整備の推進、担い手確保、林地残材などを活用した木質

町長 所得階級別、世帯人員別平均保険税額の試算を行い、現行の保険税率で算出した場合との比較を行う

示され、検討している。

町民生活課長 県標準では、資産割をなくし、所得割50%、均等割35%、平等割15%の3方式での試算が

問 高齢化が進む当町にとって、医療・介護の充実が、命と健康、暮らしを支える重要課題である。民間医科診療所が閉院となったが、町民の医療機関の利用状況を把握できているか。

保健福祉課長 住田地域診療センターの利用が1日10人、月にすると200人と増えている。県立大船渡病院、遠野病院の転院も多くなるなど隣接する地域の医療機関を利用している。

問 高齢者から通院の不便さの声が聞かれるが対策は。

町長 通院に係る移動手段

通院対策が急務 コミュニティバスの運行で対応



△秋のダイヤ改正が待たれるコミュニティバス

問 高齢化が進む当町にとって、医療・介護の充実が、命と健康、暮らしを支える重要課題である。民間医科診療所が閉院となったが、町民の医療機関の利用状況を把握できているか。

問 来年度からの第7期介護保険事業計画の策定に向けて、利用者や介護家族の声をどのように反映していくか。

町長 介護保険事業計画策定委員会において、利用者、被保険者及び在宅介護経験者から意見を伺うとともに、パブリックコメントの募集により町民の意見を広く聞いていく。

△町民と役場がより身近になることを期待



△町民と役場がより身近になることを期待



里山から農地までシカに占領されてしまいそう。

議員のつぶやき

鳥獣被害 目に余るが

町長／有害捕獲をさらに強化

我が町政を問う

ささき 佐々木 初雄 議員



△農作物の鳥獣被害は深刻な状況

問 農林業の鳥獣被害状況をどう捉え、対策をしているか。

町長 食害が増えており、農業従事者の生産意欲の減退に。さらに遊休農地の増加に拍車をかけている。要望には出来る限り対応する。

問 シカの生息状況と捕獲の実態は。

町長 県の調査結果で、住田・金石・大船渡・陸前高田地域の生息数は、7400頭〜1万1100頭で、本町の平成28年度の捕獲頭数は、1097頭である。

問 年々増える、鳥獣被害は目に余るが。

町長 シカ防護網と電気柵の設置は、各農林業振興会の要望に継続的に支援する。鳥獣被害対策実施隊による有害捕獲活動をさらに充実強化する。

問 町内のシカ肉から、基準値を超えた放射性物質が検出されているか。

林政課長 基準値は100ベクレルで、ここ3年県の検査で基準値を超えたものはない。

問 農業の所得向上に向けた振興策は。

町長 本町で取り組んできた「集約的複合経営」は、イチゴやキュウリ、葉タバコなど高収益作物の栽培面積が著しく減少。酪農や肥育牛なども減少している。

町長 シカ防護網と電気柵の設置は、各農林業振興

携による商品開発、農産物加

工などに取り組み、所得向上を目指す。

問 資源豊富な林業の振興策をどう進めるか。

町長 地域材・町産材流通システムの充実・強化のため、その核となる木工団地2事業体の再建、経営の安定化、木工団地3事業体の一体経営が最重要課題である。

ひきこもり支援策は 保健師など訪問対応



△皆で声をかけ合い、人との交流を支援。(よりあいカフェ)

担い手不足や鳥獣被害対策なども重要課題と捉え、より効果的な対策を検討し実施する。

問 杉の大径木の対策はどう考えているか。

林政課長 町内・管内で製材されており、杉の大径木の対策は考えていない。

問 健康で安心して自立した生活を送ることができ、ひきこもり支援策は。

町長 家庭を訪問し、状況を確認し、必要に応じて関係機関につなげて、自立した生活が送れるように支援する。

問 ひきこもりの症状で悩んでいる方の状況をどう把握しているか。

保健福祉課長 家庭などが

らの相談によって把握し、家庭相談員や保健師が訪問し、対応にあたっている。

問 地域型の小集落で開催されているカフェを町内各地に進めるべき。

保健福祉課長 小さな範囲のカフェは箇所数が多ければ、その地域を包含できるので、開設を支援する。



議員のつぶやき

「外部資本導入」の施策は

町長／
人口維持へと結びつけたい

農作物の供給力、
見える化に期待

問 町長所信表明演述に、「新規就農に、経営安定のための支援制度など外部資本導入を模索する」とあるが、どのような施策を考えているか。

町長 本町の農業産出額の96%は畜産が占めており、畜産事業は経済的にも重要な位置づけとなっている。この多くは関東方面に本社を置く会社経営となっており、今までは、本町の人材をできるだけ雇用し事業を展開してきた。最近はやや人員確保も厳しく、経営規模の拡大と合わせ、必要人材を本社で採用の上、住田に配置し最終的に町民として迎え、人口維持へと結

びつけたい。この考えは畜産に限るものではなく、他の業種にも同様である。

問 個別経営農業者の農業所得目標を、平成31年300万円、平成36年330万円としているが、見通しをどのように捉えているか。

町長 関係機関と連携しながら、経営規模拡大や経営改善の取り組み支援を、今後も継続して進め、6次産業化などによる所得向上や意欲的な農業生産に結びつけ、農業に取り組む若い農家を含め所得目標へ進めたいと考えている。

問 自給率の向上、町内農家の供給力のわかる仕組みの進捗状況は。



△経営規模拡大による所得確保に結び付けたい。

町長 農学連携ということですが、また利用できるまでには進んでいない現状でいくことで取り組んでい

魅力ある住高どう情報発信 きめ細やかな授業実践



△生徒個々に対応し、生徒の力を伸ばしている住田高校

問 県立住田高校を町民が誇れる魅力ある高校として、今以上に情報発信をしていく必要があると思うが。

教育委員長 小中学校などとの連携に積極的な学校であるとともに、生徒個々に対応したきめ細やかな授業を展開し、生徒の力を伸ばす教育を実践している。

住田高校 における特色ある教育活動への取り組みや教育開発学校における研究成果などの情報を積極的に全国に展開するなど、魅力の発信に努めたい。

問 文科省は8月28日、全国の小学6年、中学3年を対象に、4月に行った平成29年度全国学力・学習状況調査の結果を公表したが、当町として結果をどう評価しているか。

教育委員長 昨年度までの同調査の結果分析をもとにした授業改善の経過が表れているものと評価している。

正答率の低い学習領域の指導方法の改善を、学校全体で取り組んでいくこと、家庭での過ごし方の改善や家庭学習の時間増など、学びに向かう力へとつながるように、カリキュラムや指導方法の改善を図ることが課題である。

私が提案をする次の点を町長はどのように捉えるか、伺いたい。

問 神田町政にあっては、「森林・林業日本一」に次ぐ新しい日本の創造が必要。アツモリソウ花酵母を活用した「日本一のアツモリソウの町」を目指してはいかがか。

町長 アツモリソウ花酵母の実用化調査研究は大変重要と捉えている。商品化が実現すれば、町独自のものとして特産品となる大きな可能性を秘めている。

問 これからの進め方は。
町長 今後とも研究機関な



△住田町の夢の扉を開くアツモリソウ

どの協力を得ながら研究を進める。

問 来年度予算に計上し本格的にやるべきでは。

町長 早く動くべきところ

は行動を起こしている。
問 政府は、国際リニアコ

ライダー（I-LC）の誘致判断を年内か来年初めにも決める。I-LC北上山地実

地、I-LC誘致実現への準

現を生かした町づくりをどのように進める考えか。
町長 I-LC誘致実現で①木造建築の研究施設整備による地域材の活用促進②海外研究者やその家族などの居住受入れによる人口増③国際理解教育への好影響などが期待される。関連施策の迅速な情報収集とニーズへの対応が必要と考えている。

問 I-LCへの庁内体制づくりは。

町長 毎月開催している課長等会議で庁内の横断的な情報共有や共通理解に立ち、I-LC誘致実現への準

備を進めて行く。
問 当町には観光推進計画がなく、観光施設の年次的な整備計画や既存施設の有効活用がされていない。現状をどう捉え活性化を図る考えか。

町長 活性化を図るために観光推進計画は必要と考えている。より実効性、実現性の高い計画を策定するため、観光に直接的に関わる方々との議論が必要。

弾道ミサイル 安全どう確保 広報などで注意喚起



△北朝鮮の脅威を伝える各紙

何を目指す 次なる日本一

町長／アツモリソウ花酵母 研究進める



議員のつぶやき

アツモリソウで
オンリーワンの
町づくりを。

我が町政を問う

村上 薫 議員

問 緊迫の度を増す北朝鮮情勢。有事の際の安全な場所、避難方法などの町民及び児童・生徒への周知・訓練などがなされていない。どう安全確保を図る考えか。

町長 全国瞬時警報システム（Jアラート）が伝達された場合、速やかな避難行動をとる必要がある。教育委員会では、児童・生徒の登校、下校や在校中の対応

について臨時の校長・園長会議を開催し、その対応方法の周知徹底を図っている。

問 町の国民保護計画書には、消防団員及び自主防災組織等のリーダーに対して国民保護措置に関する研修を行うとあるが。

総務課長 研修などは、機会を捉えて行っていく。避難の行動は、広報すみた9月号に記事を掲載する。



議員のつぶやき

木工2事業体問題
に早期決着を…

木工2事業体

法的手続きは

町長／早期の調停を目指す

問 木工2事業体の未償還金などへの対応を、前町長から、どのように引き継いだのか。

町長 木工2事業体への総額7億9000万円の融資は、計画どおりの償還に至っていない。木工2事業体が事業継続・雇用確保できる唯一の方法は、けせんプレカット事業協同組合の支援・協力を得た木工3事業体の一体経営である。そのため、木工2事業体経営陣の「責任や負担を明確にしていた」調停により、全ての債権整理を図りたい。という方向性などについて、議員全員協議会や住民説明会でも一定の理解が得



△一体化が期待される木工3事業体

られている旨、説明を受けているので、早期の調停を目指したい。

問 木工2事業体の調停に向けた法的手続きは、今後どのように進めていくのか。

副町長 先の理事会において木工2事業体の理事長が決定されている。

10月中には調停を申し立て、できれば12月中旬か年明け早々にも決着に持ち込みたい。

問 調停が不調だった場合、違うやり方を考えるのか。

副町長 調停がうまくいかなかった場合には、債権回収のための裁判も考えられる。

受診しやすい環境を 地域医療対策協で検討



△広域対応にいそしむ住田分署の救急車

問 「医師や医療従事者の確保、医療機関を受診しやすい環境づくり」として、具体的などう取り組んでいくのか。

町長 気仙医師会や町出身医師などと相談しながら、町内で開業していただける方を探してきたが、未だ実現には至っていない。

今後は、地域医療対策協議会を中心に町としてできることを検討しながら、県立大船渡病院、住田地域診療センターと協力し、連携をとって、医師や医療事業

者の確保に努め、地域医療の充実を図っていきたい。併せて、県立病院等を受診しやすい公共交通機関のあり方についても協議し、検討していきたい。

問 町内救急患者の搬送先を、坂本地区の人なら遠野、五葉地区の人なら釜石というように「広域で柔軟に考える」救急搬送体制を構築していく考えはないか。

総務課長 現在でも救急搬送する際には、釜石にも遠野にも、実際に搬送してい



議員のつぶやき

ニホンカモシカや熊が、もっと少なくなればいいな。

林地残材の売り込みを

町長／新エネルギービジョンで検討

我が町政を問う

ささきしんいち 議員



△林地残材利用材は、木質バイオマスエネルギーとして利活用を。

問 自伐林家の育成が重要と考えるが。

町長 自伐林家による林業は採算性と環境保全を両立可能な持続的的林業経営で、幅広い就労機会を与える。林地残材等の利活用と併せ自伐林家についても検討。

問 森林の環境整備、林地残材や未利用材の利活用拡大をどう図っていくのか。

町長 本町における木材の地域内消費は、公共施設や住宅などの建築材、自家消費用の薪材などに利用されている。林地残材、未利用材の利活用は主として木質バイオマスエネルギー利用で、燃

料としてのチップ利用を主に考えている。

問 大船渡市の太平洋セメント工場の敷地内に国内最大規模のバイオマス発電所が建設予定になった。林地残材や未利用材の売り込みが必要と思うが。

町長 新会社・大船渡発電株式会社を設立し、バイオマス発電所を設置すると聞いている。現在、新エネルギービジョンを策定中で、林地残材、未利用材の有効活用を推進するため、木質バイオマスの利活用を検討し、地産地消という活用の点を優先的に進めたい。

ジビエの処理施設の考えは

すぐの建設は考えていない



△田畑や家の周りに出没するシカ

問 稲作よりも高収益が期待できる作物への取り組みの転換が必要だが。

町長 現在もキュウリは町の基幹作物であり、生産部会やJAを中心に指導体制も確立している。また、町としても規模拡大への支援策を行っている。今後も農業で一定の収入を得ていくためには、高収益作物への転換は必要と捉えている

問 秋田県では、園芸メガ団地を進め、農業産出額の伸び率が全国トップになっている。当町でも園芸団地化を進めるべきと考えるが。

町長 農地中間管理事業を活用しながら、集落内の農地をまとめて担い手農家に集積していきたい。

問 農水省では、捕獲された野生の鳥獣であるジビエ

の利用拡大への方針を打ち出しているが。

町長 東京電力福島第一原発事故以降、現在まで県内全域でシカの利用自粛制限がかかっている。現時点では解除になるまでは、利用は難しい。

問 当町においても、ジビエを地域資源として活用するため、処理加工施設の整備を考えないか。

農政課長 農水省で強力に進めるといふ方針を出しているのは承知している。捕獲後の衛生管理が非常に厳しいと捉えている。現時点での建設は考えていない。

※園芸メガ団地とは、団地当たりの販売額を1億円、大規模経営に取り組み担い手育成、省力化・低コスト化による生産性を図って行く。

一般質問その後 どうなりました

あの提言

一般質問は、議員に与えられた重要な権限の一つですが、ここでは、一般質問のその後「どうなりました あの提言」として、過去の一般質問や議案審議などが町政にどう反映されているのかお知らせします。

掲載内容は、平成18年以降の質問から議会広報編集常任委員会で1項目を選び、その後の状況などを追跡しました。

特集

町と、議会と、町民は
60

質問

豪雨被害 防止策は

豪雨による流木被害拡大の防止策や、より安全な護岸構築を図るべき。

答弁

河川の整備は 県に対し 事業化の要望

- ・河川の緊急性の高いところから立木伐採を進める。
- ・30年に一度の洪水に備えた河道掘削・護岸整備を行なう。

その後

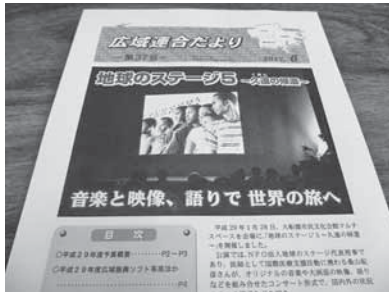


△護岸が整備された「すみた荘」付近

- ・気仙川水位観測所に照明をつけた監視カメラ設置で夜間でも水位の状況が住田テレビで視聴可能に。
- ・すみた荘付近の護岸工事など進む。

去る8月28日、気仙広域連合議会全員協議会が開催され、平成30年度予算に係る対県要望11件の概要が確認されました。

- 要望項目は次のとおり
- 1 国際リニアコライダー（ILC）の北上山地への誘致実現
 - 2 鳥獣被害対策の強化
 - 3 放射能で汚染された農業系廃棄物の処分
 - 4 地域医療体制の強化・充実
 - 5 医療・介護・保健などの連携支援
 - 6 被災事業者などへの支援策の拡充
 - 7 広域観光の推進
 - 8 三陸沿岸道路などの整備促進
 - 9 復興支援道路などの主要幹線道路の整備
 - 10 大船渡港湾の復旧・整備と利用促進
 - 11 地震・津波防災対策の強化



△2市1町の事業が紹介される広域連合だより

追跡



私の意見を聞いて!

気象情報による備えを



佐々木 智嘉 さん

(下有住字高瀬)

昨年8月の台風10号による集中豪雨で、五葉地区に甚大な被害がもたらされた。下有住地区の月山橋や製材所にも水が上がりましたが、大きな被害にはならずホッとしました。

最近、大雨や集中豪雨が発生すると、水路がふさがり、建物が浸水することが多くなりました。排水溝が低いため、河川からの水が逆流してくるので、地域住民が安心して暮らせるよう、早期の改良をお願いします。

避難場所が公民館になっていますが、普段からラジオ、テレビなどの気象情報に十分注意し、災害に対する備えをしています。

沢からの土砂対策も



菊池 夕カ子 さん

(世田米字金成)

目の前は大股川本流と通称金成沢と交わる付近で暮らしています。大雨の時には常に洪水にならないかと不安な日々を過ごしています。

津付ダム建設が中止になり河川工事も川幅を広げるなど、徐々には進んでいます。計画の一日でも早い完成が待たれます。

沢の砂防ダム建設計画もあります。沢からの土砂流出が本流の勢いによって堰き止められないような、工事が出来ないものかと考えています。

避難情報が放送される前に早めの避難を心がけておりますが、安全、安心な町づくりには創意工夫をお願いします。

傍聴に

来てけらっせん!!

次回の定例会は12月5日(予定)から
開会は10時です。

詳しくは議会事務局へ ☎ 46-3754 (直通)
E-mail gikai@town.sumita.iwate.jp



上有住字土倉

藤井

茂さん

私も ひとつ 甘口 辛口

79

世田米字松ヶ平

松田 弘子さん



釜石住田線の早期改良を

●今活動していることは

前の先生から教えられた五葉念仏剣舞です。踊りに竹・太鼓・踊りと、三つ揃って念仏剣舞が成り立っています。踊りは七つあり、その七つを大人や子供たちに教えています。

●気になっていることは

五葉中沢の河川敷広場が、土木資材置き場になっ

ていますが、その広場をグラウンドにして、周りに桜の木を植え、高齢者や子供たちのスポーツグラウンドになればいいが。

●議会や町に望むことは

滝観洞インターが出来て車の往来が激しく、五葉地区はセンターラインのない道路で、大型車の通行が多く、早期に改良してほしい。



△狭あいな県道の早期改良を願う

声を掛け合いながら交流

●今活動していることは

高齢となった今だからこそ、日々楽しく生き活き暮らすことを心がけています。その一つが、シルバー人材センターへの参加とグランドゴルフです。体を動かしながら、仲間との和気あいな時間はとても楽しい時になっています。

●気になっていることは

高齢者世帯や独り暮らしが増える中、外に出ながらない方が多くなっているように感じます。仲間との交流が大切、声を掛け合いながら暮らしたいと思えます。

●議会や町に望むことは

大平の道路は狭くて急坂ですが、生活の要です。町道の除雪は、圧雪状態になる前早めに欲しいと思います。

大平の道路は狭くて急坂ですが、生活の要です。町道の除雪は、圧雪状態になる前早めに欲しいと思います。



△グランドゴルフを楽しむ仲間

表紙の写真

有住保育園



「トリック・オア・トリート」の音が響き渡る、有住保育園のハロウィンパレードのひとつコマです。

みんな思い思いの衣装に身を包み、かっこよく、かわいらしく変身してパレードしました。

小学校のお兄さん、お姉さん、父兄の皆さんから、袋からあふれそうなくらいたくさんのお菓子をもらって、笑顔もあふれる子供たちでした。

あとがき

▼常任委員の所属構成が決まり、議会広報編集常任委員会も新たなメンバーとなりました。引き続き町民の皆さんに親しまれ、読みたくなるような『議会だより』紙面づくりに努めます。

▼神田町長のもとでの初の定例議会。新町長との論戦の模様をお伝えします。

▼9月議会は、決算審査議会であり、28年度の事業効果を検証。多岐にわたる質疑応答により議論が深められました。

▼8月～9月の天候不順の影響で、稲刈りの遅れが見られます。出来秋の成果はいかがでしょうか。▼11月には「住民と議会との懇談会」が開かれます。生の声をお寄せください。

(佐々木春一)

発行責任者

議長 菊池 孝

委員長 佐々木春一

副委員長 瀧本 正徳

委員 菅野 浩正

委員 佐々木信一

委員 佐々木初雄

広報編集常任委員会

委員 萩原 勝



すみた 議会だよりNo. 159

平成29年10月27日発行

発行/住田町議会 編集/広報編集常任委員会

〒029-2396 岩手県気仙郡住田町世田米字川向88-1
TEL 0192(46)3754(直通) 内線511 FAX0192(46)2018
http://www.town.sumita.iwate.jp